平成25年度　決算説明書／事務事業評価シート

課　名	建設課

予算	款	項	目	決算書
	8	2	3	254 頁

目　　名
道路新設改良費

事業名称
道路橋梁新設事業

1．概要

目的	地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ快適で安全な移動や歩行ができるように整備する	対象	市民全般

事業概要

○国（国土交通省）の補助を受け市道の改良舗装工事を実施
「社会資本整備総合交付金」
・市道牛首線（大野町）、市道南部幹線（朝地町）、市道久原柳瀬伏野新田線（三重町・清川町）、市道中原河屋線（大野町）、市道下山片島線（千歳町）、市道浅水牟礼線（三重町）、市道久原松田線（犬飼町）、市道清水線（清川町）、市道下赤嶺原線（三重町）

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	繰入金	一般	
臨時	市道牛首線道路改良事業（大原工区）	土地購入費　19人	公有財産購入費	31,000	21,499	13,974	7,100	425		3
臨時	市道南部幹線道路改良事業（志賀工区）	改良舗装L=414.0m W=7.0m	工事請負費	104,823	63,764	41,446	21,100		1,218	3
臨時	市道久原柳瀬・伏野新田線道路改良事業	測量設計L＝1920.0m W＝5.0m	委託料	103,235	53,632	34,861	17,800		971	3
臨時	市道中原河屋線道路改良事業（後田工区）	改良舗装L=450.0m W=7.0m	工事請負費	126,000	50,563	32,866	16,800		897	2
臨時	市道下山片島線道路改良事業（下山工区）	測量設計L=200.0m W=7.0m	委託料	13,000	3,100	2,015	1,000		85	2
臨時	市道浅水牟礼線道路改良事業（牟礼工区）	改良舗装L=190.0m W=9.75m	工事請負費	131,977	68,121	44,279	22,600		1,242	2
臨時	市道浅水牟礼線舗装補修事業（菅尾工区、H25完了）	舗装工事L=480.0m W=9.75m	工事請負費	45,446	45,026	29,267	14,900		859	1
臨時	市道久原松田線道路改良事業（久原工区）	測量設計L=900.0m W=5.0m	委託料	112,833	49,629	32,259	16,400		970	3
臨時	市道清水線舗装新設事業（H25完了）	舗装工事L=320.0m W=7.0m	工事請負費	8,192	8,192	5,325	2,700		167	1
臨時	市道下赤嶺原線舗装補修事業（H25完了）	舗装工事L=486.0m W=5.0m	工事請負費	16,594	16,594	10,786	5,500		308	1
経常	一般管理事業		使用料及び賃借料	25,061	16,210			3,788	12,422	2
計				718,161	396,330	247,078	125,900	4,213	19,139	

２．指標設定

成果指標			目標年度		指標の設定理由
	指標名	市の中心部と全町の生活拠点を結ぶ所要時間の短縮		H27	総合計画／後期基本計画において、基本施策（3-1-1）の目標としているため
	数値	25分以内			

活動指標											
	指標	a	幹線道路の改良率	b		c		d	
	数値	目標	向上	目標		目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５
市の中心部と全町の生活拠点を結ぶ所要時間の短縮	分	30 分	30 分	30 分
		83.3 %	83.3 %	83.3 %

活動指標名		単位	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５
a	幹線道路の改良率	%	69.2 %	69.3 %	69.1 %
			―	―	―
b			―	―	―
			―	―	―
c			―	―	―
			―	―	―
d			―	―	―
			―	―	―

４．課題と対応

課題
本市の市道は幅員が狭くカーブが急など改良すべき路線が多い。今後も市民生活道路として都市計画道路など幹線道路と組み合わせた利便性の高い道路網の整備が急務である。
対応（改善点等）
市民の日常生活を支え、市民生活に密接な関係にある幹線道路の整備・改良を計画的に進めることで、市の中心部から各町の生活拠点との時間短縮を図ることができる。

５．事業費・・・Ｈ２３～Ｈ２５（決算額）、Ｈ２６（予算現額）

決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		858,691	467,930	396,330	617,244
	うち経常経費	11,855	8,541	7,752	8,044
財源内訳	国費	504,891	297,323	247,078	390,000
	県費				
	市債	257,200	145,800	125,900	199,300
	その他	3,206	700	4,213	2,400
	一般財源	93,394	24,107	19,139	25,544
	うち経常	11,855	8,541	7,752	8,044
事業費に係る人件費		43,516	35,896	24,845	24,573
事業費に係る人役		10.12	8.36	5.70	5.54

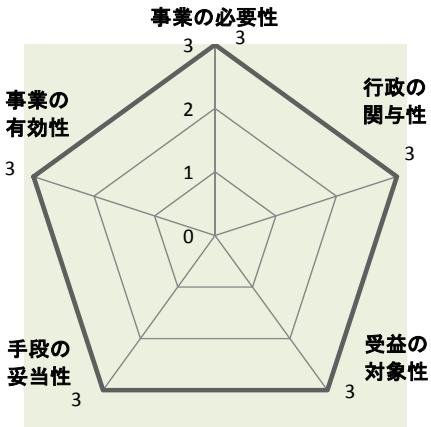
６．Ｈ２７年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
道路改良事業は、国（国土交通省所管）の補助を受け実施する事業であり現行制度で推移するため。

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	市民生活の利便性向上や産業の活性化を図る。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	道路を利用する市民。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	計画的に道路網の整備を実施している。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	目標達成率は向上している。

分析グラフ



８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で、選択と集中を図りながら、引き続き改良に努めること。